

# 成否を分ける“ルール作り”

**Make a rule !**

**EY Advisory & Consulting Co., Ltd.  
People Advisory Service**

# Tool

---

円滑に仕事を進  
めるための手法 /  
ひな型

# Rule

---

ルール

# Trust

---

信頼関係

# テレワークの成否を決めるルールづくりの秘訣とは？

## Q. なぜルールが必要なのか？

A. チーム・個人にあったルールを定めることで、円滑に仕事を進めるため

様々な  
ライフスタイル  
ワークスタイル

異なる  
コミュニケーション  
スタイル

心理的ストレス

コミュニケーション  
の分断

チームとして  
仕事が進まない

職場での関係性  
(上下関係)

無意識の牽制

遠慮・不信感

# テレワークの成否を決めるルールづくりの秘訣とは？

## Q. どのようなルールを作ればよいのか？

### A. チームだけでなく、自分のMyルールもしっかり作る

#### チーム

チームとして仕事を推進のために必要な最低限遵守するルール  
ルール設定の際の視点

- ▶ シチュエーション別のルール: 例) チーム内会議、クライアント会議、〇〇会議等
- ▶ 推進の仕方のルール: 例) 使用するコミュニケーションツールや会議の進め方
- ▶ 想定される最低限の生活環境を考慮したルール: 例) 介護、子育て など

#### 個人

Myルール（最も効率よく働くための個人ルール）

ルール設定の際の視点

- ▶ ライフスタイルに合わせた独自のルール: 例) 〇〇の送迎後何時から始業
- ▶ ワークスタイルに合わせた独自のルール: 例) 集中する時間が欲しい
- ▶ コミュニケーションのルール: 例) なるべく顔はださない等

# テレワークの成否を決めるルールづくりの秘訣とは？

## Q. どのようにルールを作り、運用していけばよいのか？

### A. 各自の働き方にあった柔軟かつ規律のあるルールを議論して決定する



Step1 スタート時



テンプレート.1  
チームとして仕事をする  
ために必要な最低限遵守  
するルール

Step2 目安1週間後



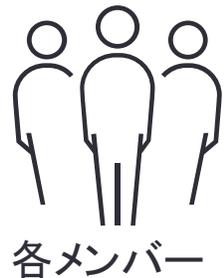
テンプレート.2  
各自、My ルールを  
設定し、共有

Step3



テンプレート.1  
修正・追加

各自のスタイルを  
尊重した  
チームとしての  
ルールを決定



## ルールを決める前に意識したい、最低限のマナー

---

- ▶ 就業時間を意識する。翌朝の打ち合わせや会議の招集依頼を就業時間後に送信することは避ける。
- ▶ 仕事とプライベートの境界を意識し、業務が終わればPCをOFFにする。
- ▶ チームメンバーどうしが連絡可能かわかるようにSkype/TEAMSでは正確なステータスを表示する。
- ▶ Outlookカレンダーは常に最新状態を保つ。
- ▶ 会議招集のメールに、会議の目的、当日のアジェンダ、前提条件、準備すべきタスク、担当者など必要な情報を記載し、会議参加者に不安を持たせないように配慮する。



## テンプレート 2.メンバー全員用

### My ルール（最も効率よく働くための個人ルール）

自分のスタイル(自分用)	内容
ライフスタイル	
ワークスタイル	
コミュニケーションのルール	

メンバーへ共有・提案 したいルール	内容

## EYについて

EYは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーなどの分野における世界的なリーダーです。私たちの深い洞察と高品質なサービスは、世界中の資本市場や経済活動に信頼をもたらします。私たちはさまざまなステークホルダーの期待に応えるチームを率いるリーダーを生み出していきます。そうすることで、構成員、クライアント、そして地域社会のために、より良い社会の構築に貢献します。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、[ey.com/privacy](https://ey.com/privacy)をご確認ください。EYについて詳しくは、[ey.com](https://ey.com)をご覧ください。

## EY Japanについて

EY Japanは、EYの日本におけるメンバーファームの総称です。EY新日本有限責任監査法人、EY税理士法人、EYトランザクション・アドバイザリー・サービス株式会社、EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社などから構成されています。なお、各メンバーファームは法的に独立した法人です。詳しくは[www.ej japan.jp](https://www.ej japan.jp)をご覧ください。

## EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社について

EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社は、EYの日本におけるメンバーファームです。さまざまな分野の専門性を有するプロフェッショナルがグローバルに連携し、企業が抱える経営課題に対し、最先端かつグローバルな視点と実行力で、最適なアドバイザリーサービスを総合的に提供いたします。詳しくは、[www.ej japan.jp/advisory](https://www.ej japan.jp/advisory)をご覧ください。

© 2020 EY Advisory & Consulting Co., Ltd.  
All Rights Reserved.

ED MMY

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

[ej japan.jp/advisory/](https://ej japan.jp/advisory/)